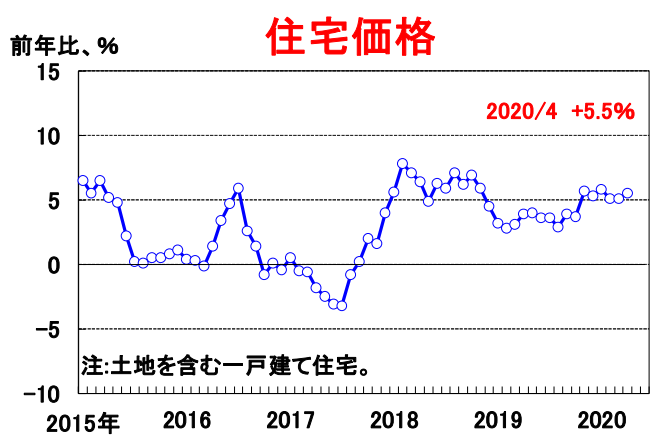
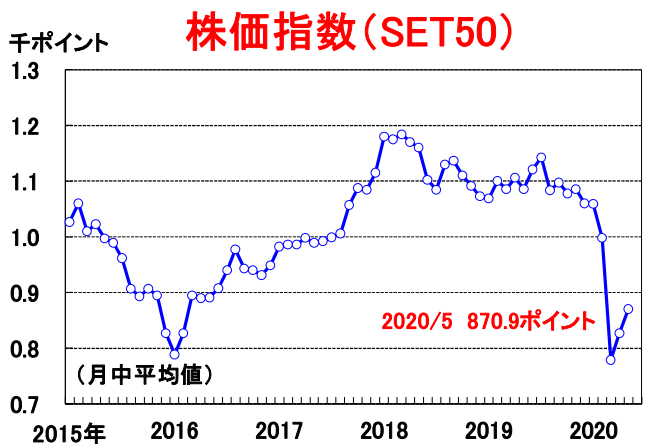
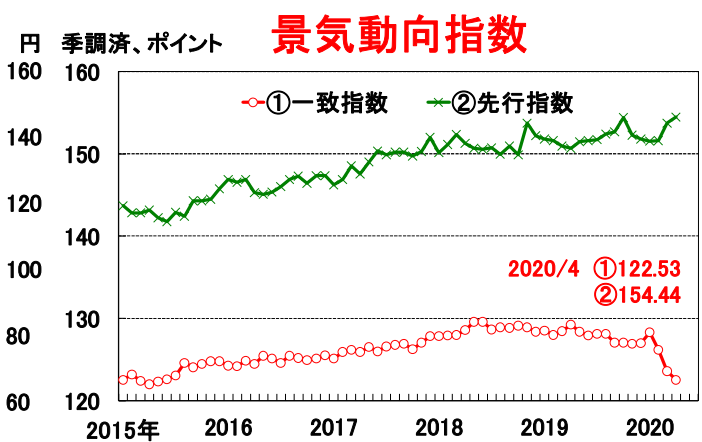
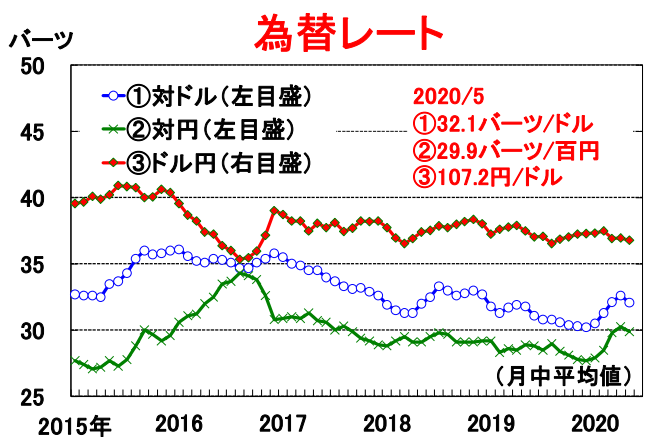
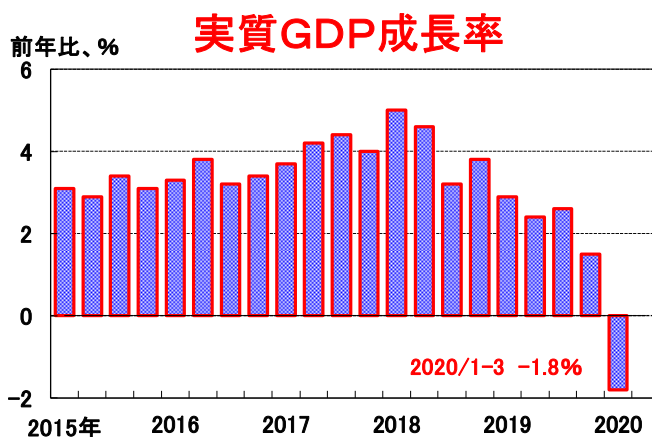
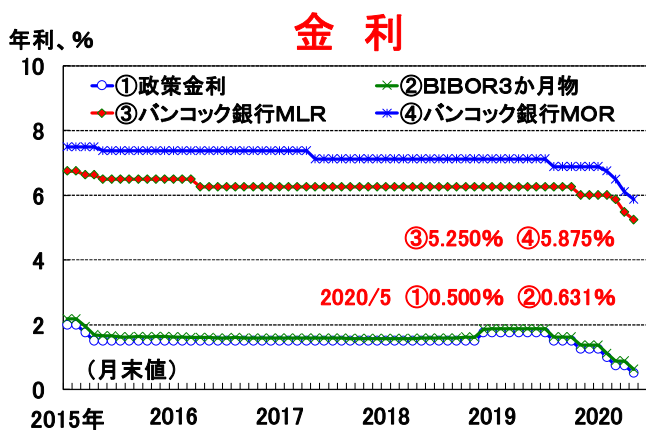


グラフで見るタイ経済 2020年6月号(No. 132)

20年1～3月期のタイの実質GDP(国内総生産)は前年比-1.8%と、新型コロナウイルスの感染拡大を背景に、14年1～3月期以来のマイナス成長となった。内訳をみると、個人消費が増加したものの、総固定資本形成は大幅に減少し、輸出も減少幅を拡大した。直近の月次指標をみると、4月の個人消費指数が前月比-8.6%と急落し、また5月の企業景況指数も34.4と中立水準(50)を大きく下回っている。この状況下、タイ中央銀行は5月20日に過度な景気悪化を防止する目的で、2か月ぶりの利下げ(0.750%→0.500%)に踏み切った。

【足元の景気判断】						
指標	景気全般	輸出	民間投資	個人消費	鉱工業生産	企業景況感
判断結果	↓	↓	↓	↓	↓	↓

(注) 矢印は概ね3か月前との比較。青の矢印は改善を、赤の矢印は悪化を、白の矢印は横ばいを表している。

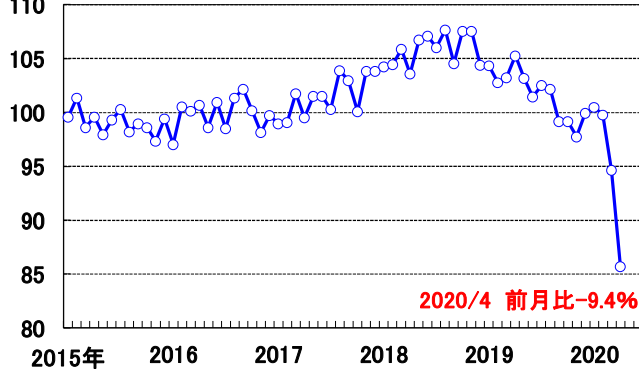


(出所) タイ中央銀行、タイ国家経済社会開発委員会 (NESDB)、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

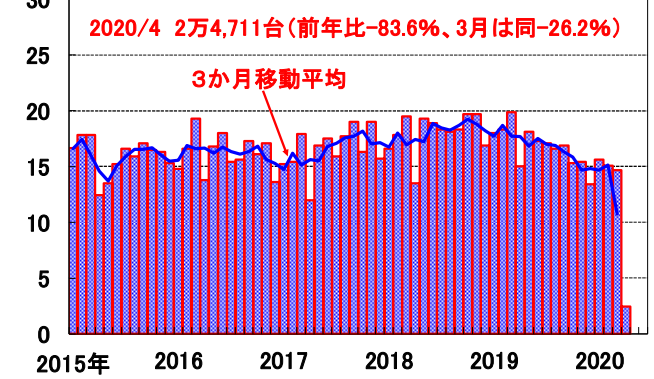
季調済
2016年=100

工業生産指数



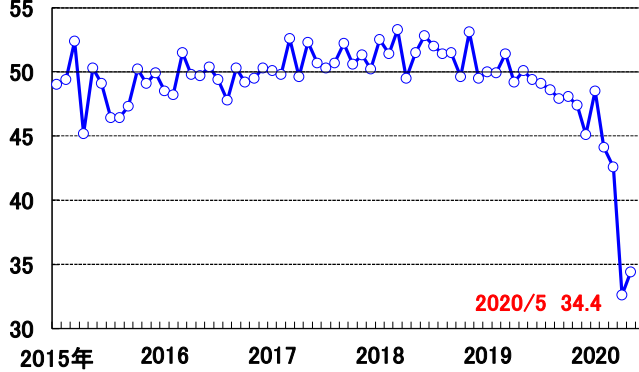
万台

自動車生産台数



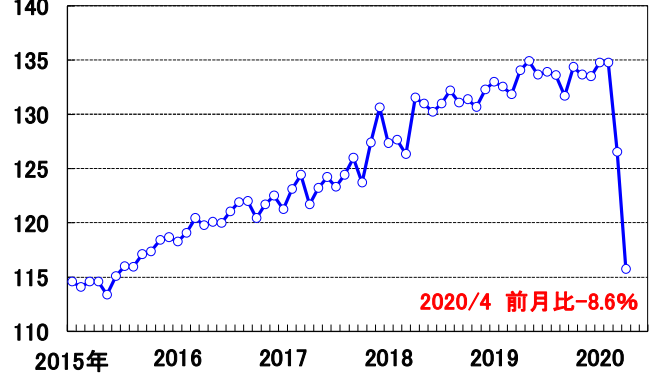
中立水準=50

企業景況指数(BSI)



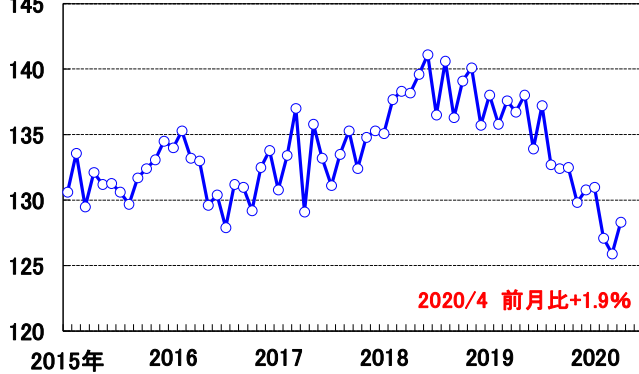
季調済
2010年=100

個人消費指数



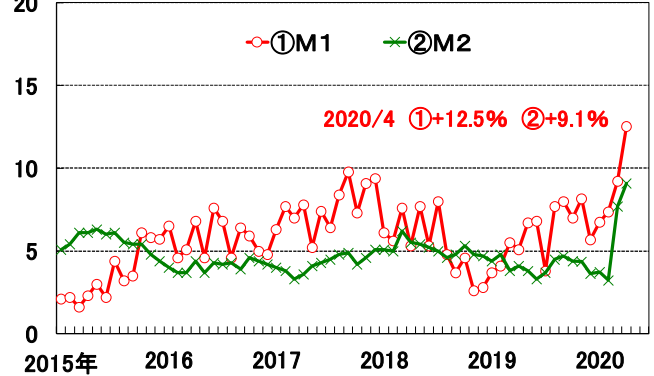
季調済
2010年=100

民間投資指数



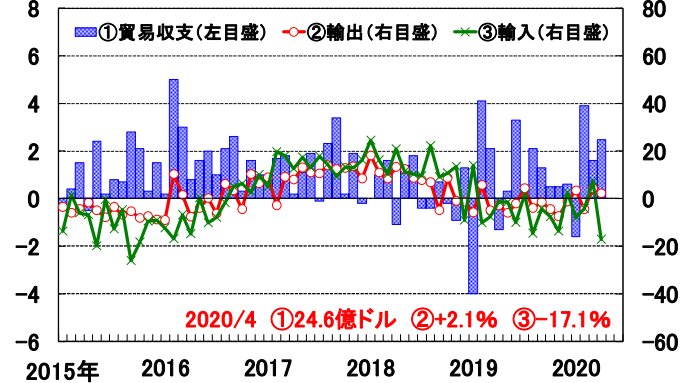
前年比、%

マネーサプライ



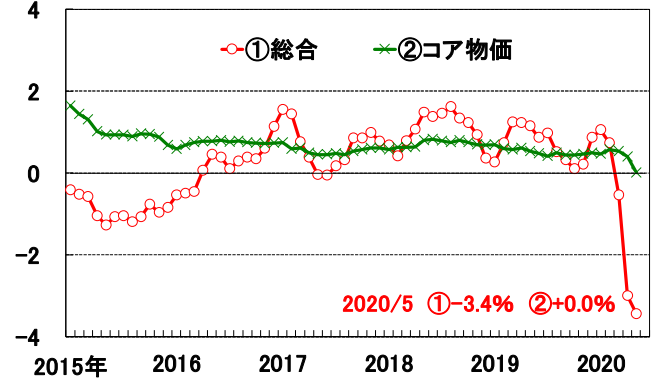
10億ドル

貿易収支



前年比、%

消費者物価指数



(出所) タイ工業省、タイ中央銀行、タイ国家統計局、タイ工業連盟 (F T I)

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。